

各支所の皆様

支部名改称の経緯

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は日本建築学会九州支部活動ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、日本建築学会九州支部では、支部の名称を「九州・沖縄支部」へと改称する可能性を探っております。

いうまでもなく、一般社団法人日本建築学会は、定款第4条(目的)にあるとおり、会員相互の協力によって、建築に関する学術・技術・芸術の進歩発達をはかり、もって社会に貢献することを目的に活動する学術団体として、1886年(明治19年)に創立された日本でも最も古い学術団体の一つです。近年においては2016年に本会が目的に向かって今後10年間歩みを進めるための視座と具体的な行動を与えるものとして長期計画が策定されています。

本計画には、[ビジョン] I 建築の未来への貢献のなかに、学会の持続的発展多様性のある社会の実現のための行動項目—11「特色ある建築教育への貢献」として、「グローバル化に対応した多様性のある社会の実現のためには、建築や地域の多様性を担保する必要がある。」と明記され、[ビジョン] V 学会の持続的発展には、「特色ある支部活動と本部との連携」が必要と謳われています。ここには「特に支所—支部—本部という軸に沿って連携交流を活発にする方策が望まれる。また支部は災害などに備えて地域の人々との定常的な情報交換を担う必要がある。」とも記されています。日本建築学会九州支部における「支部」は地理的な区分であり、沖縄という区分も含まれるという解釈もございしますが、歴史、文化さらには気候、災害まで、全く様態を異にする沖縄が九州という区分に内包されてしまうことには、正直、抵抗を感じております。なお、沖縄支所は1972年(昭和47年)に開所しております。

そこで、まことに小さな一歩ではありますが、「九州支部」を「九州・沖縄支部」へと改称することによって、九州支部が今後10年間歩みを進めるための第一歩としたいという思いに至りました。日本建築学会の約款の変更という、やや高いハードルがありますが、会員のご支持があれば、何とか実現に漕ぎ着けるのではないかと考えています。これまで、支部幹事会ではとくに異論なく、前沖縄支所長からも是非検討を進めて欲しいというご意見を頂戴しています。

改めまして、この件について、各支所のご意見を頂戴できたらと存じます。

敬具

日本建築学会九州支部
支部長 堀 賀貴